

令和4年度長野県高等学校総合体育大会 東信大会
兼・第171回東信地区予選会柔道競技

大会役員

大会長 丸尾 泉

競技役員

競技委員長 芹沢 隆
総務 土屋 智子 青木 和仁 小西 睦生 松田 晃和
審判長 土屋 智子
審判員 【高体連】
青木 和仁 佐久 優真 松本 俊一 垣田 恵祐 松田 晃和
【上小柔連】
源城 拓 荻原 治樹 山本 純輝 竹村 幸徳 遠江 憲二
【佐久柔連】
錦織 勝雄 土屋 樹 市村 光一 新海 周平 伊坂 悠

進行係 青木 和仁
受付係 佐藤 光雄 松本 俊一
表彰係 芹沢 隆 湯本美紗紀
計量係 垣田 恵祐 土屋 智子
救護係 東信柔道整復師会 柳澤 愛子
補助員係 佐久 優真 松田 晃和
記録係 小西 睦生 坂下 幸二
補助員 佐久長聖高校（10名） 丸子修学館高校（5名）

実施要項

1 期日、日程（状況に応じて変更する場合があります）

◇5月14日（土） 8：30～9：00 検温・健康記録提出
計量（男子・柔道場、女子・更衣室）

集合 8：30 受付
会場消毒 9：00
審判監督会議 9：30 会議室・オーダー提出
開会式 10：00 予定

試合開始 開会式後 男子団体戦
女子団体戦
男子個人戦（7階級）
女子個人戦（7階級）

閉会式 終了後、県大会申し込み

2 会場 小諸市武道館

3 競技方法

【男子団体】

- ① チーム編成は1校1チーム 監督1名 選手3～5名 補欠1名
- ② エントリー選手3～8名のうち、審判監督会議までに上記オーダーを提出する。
- ③ 選手4名以下の場合、後ろ詰めのオーダーとする。
(オーダーは補欠との入れ替え以外変更不可)

【男子個人】

7階級 (60 kg級、66 kg級、73 kg級、81 kg級、90 kg級、100 kg級、100 超kg級)

【女子団体】

- ① チーム編成は1校1チーム 監督1名 選手3名 補欠1名
- ② エントリー選手3～6名のうち、審判監督会議までに上記オーダーを提出する。
- ③ 試合は各チーム3名で行う。(オーダーは補欠との入れ替え以外変更不可)

【女子個人】

7階級 (48 kg級、52 kg級、57 kg級、63 kg級、70 kg級、78 kg級、78 超kg級)

4 表彰 団体・個人 各4位までを表彰する。

5 競技上の注意

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定最新ルール(2022-2024)および、全国高体連柔道専門部申合せ事項により行う。
- ② 試合時間は男女団体、個人ともすべて3分とする。
- ③ 団体試合における優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。
- ④ 個人試合及び団体試合代表戦における「優勢勝ち」の判定基準は、「技あり」または「僅差」以上とする。なお、「僅差」は「指導差が2」とする。同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗を決する。延長戦に入った場合、従来どおり「技あり」以上もしくは指導差がでた時点で勝敗を決する。

6 県大会関係

- ① 男子団体戦および女子団体戦出場校、男女個人戦各階級8位までに県大会出場権を与える。
【 県大会 5月28～29日(土～日)長野運動公園体育館 】
- ② 参加料 1000円【 5月14日(土)受付 】

コロナ関連

- ① 県高体連の新型コロナウイルス感染症対策に係るガイドライン(改訂版)が近日中にだされるので、詳細については各顧問にメール連絡をします。
- ② 選手・監督など学校関係者は、5/7(土)～試合当日までの「健康記録」の提出が義務付けられます。監督(学校責任者)がまとめて、受付で提出をしてください。

監督の役割 ① 監督は、自身の選手が大会会場に入室してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

監督の行為・言動

- ① 通常、試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ、選手に対し指示を与えることができるが、今大会は申し合わせにより、試合中（全ての間）大声での指示・指導は禁止します。
- ② 次の行為を禁止する。
 - ア) 試合が進行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること。
 - イ) 対戦相手や自身の選手を侮辱する言動。

罰則規定

- ① 1回目は審判員が合議の上、口頭により「警告」を与える。
- ② 2回目は審判員が合議をし、大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに、その試合が終わるまで監督席から退場させる。
- ③ 次の試合（対戦校）からは、監督席に座ることはできるが、その後も改善されない場合は、大会期間中をとおして、監督席への着席を認めない。

その他

- ① 競技中の傷害・疾病などの応急処置は主催者がおこなうが、その後の責任は負わない。
- ② 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。
 - ・大会1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得ること。大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の検査を受けること。練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- ③ 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- ④ 新入生の練習および大会参加については、事故防止・安全確保について留意し考慮すること。柔道を始め6ヶ月経過しない生徒に関しては本大会への参加は不可とする。

コロナ関連留意事項

- ・試合は原則として無観客としますが、有観客試合を実施する場合は、各学校の顧問にメール連絡をします。（「健康記録表」の提出は必要になります。）
- ・入場時、全員「検温」をおこないます。発熱（37.5度以上）のある場合は参加できません。
- ・選手・監督など学校関係者は、全員「健康記録表」を提出します。提出なき場合は、試合に参加できません。
- ・その他の役員においては、「健康観察」をおこないます。

- ・試合者以外は、「マスク」を着用してください。試合のない生徒・審判・役員も同様です。
- ・試合中の応援については、距離を保つことと、大声を出さないことを心がけてください。

- ・その他、何かお気づきの点などありましたら、大会長・競技委員長までお願いします。